

高市総理への「富国強兵」のご提言

「富国強兵」への道

1. 日本凋落の要因
2. **富国**：スロー社会の構築、自動介護システムの構築、自動運転パトロールシステムの構築により、誰でもが終末まで、誰気兼ねなく楽しく暮らせる、高度福祉国家の樹立、犯罪が極めて起こりにくい社会の構築、さらに南海トラフ地震で災害関連死を含め死者数0を目指す。
3. **強兵**：数多くの無人潜水艦に搭載の無数の AI ドローンが日本の全海域を守ることで、絶対安全にし、世界平和に向けて積極的な、北方領土を含めた提言「AI 共同統治」をし、「木造人工島のブルーカーボン」を世界に普及させることで、カーボンニュートラルの達成の先導役を果たす。

注：ここでいう「富国」とは、日本復活（GDP2 位、国際競争力 1 位）のことですが、「強兵」とは、自衛隊の増強という意味ではなく、万全な防衛システムを構築した上で、またカーボンニュートラルの達成の技術シナリオを構築した上で、世界に対して強い指導力を発揮する（発言力をもつ）という意味です。

1. 日本凋落の要因

日本凋落の要因は「企業献金」による政治の腐敗です。

（1）企業献金により、法人税を下げ、この 30 年で個人の税負担が倍増し、未婚率が 5 倍増しております。消費が低迷し、少子化の原因となっています。

（2）企業献金により、無駄な補助金が交付され、またその補助金が他用途に使われても予算チェック・ペナルティがない。多くの企業がハングリー精神を失い、AI 技術を含め研究・技術開発力の低下が著しく、国際競争力が（1 位→38 位）となり、日本低迷の要因となっています。

2. 富国強兵への道の「富国」

（1）スロー社会の構築

地方創生の名のもとに、地方からの各種リボルーションを期待したものの、地方では、革新的な特許技術は生まれにくく、ヒト・モノ・カネのリソースが足りず、日本低迷の要因になっていますので、それを改め、中央（国）が、全国から（必要に応じ海外からも）超優秀な特許技術を募り、有識者による投票で採択する（ワイロが働かないようにする）政策をとる必要があります。

例えば、特許技術（https://ipforce.jp/patent-jp-P_B1-7595386）を使用した、「スロー社会」「低速自動運転車社会」「水両用低速自動運転車社会」によって、現在抱えているありとあらゆる課題が同時に解決し、郊外も市街地も活性化し、また車メーカーを中心にありとあらゆる産業が活性化し、GDP は 2 位に返り咲き、国際競争力は 1 位を取り戻すと考えています。以下をご参照下さい。

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_4bdb9ae07b9346f5a2c484551695cf59.pdf
https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_f8bb35cd16154fec82529a3084a39a21.pdf

「スロー社会」で低速走行（6km）だから物事が停滞すると考えがちですが、電車や車を乗り継げば、早く目的地に到着しますが、その間仕事をすることはできず、しかも疲れます。

低速自動運転車では、冷暖房完備の完全個室であり、充実した仕事や趣味が集中してできるので、すなわち安全に移動しながら仕事ができる空間ですので、当然社会システムでの全体効率は大幅に UP します。

また、自動介護システムを構築することができますので、人手が大幅に減り、全体効率 UP につながります。

特に米国では銃社会であり、銃を突きつけられての暴行や誘拐などが横行し、車載カメラの映像や GPS 情報を AI（マイアバター）が付近のパトロールカーにリアルタイムで通報するので、交通安全のみならず、安全社会を演出することができます。

「低速自動運転車社会」は、米国でのメリットがより大きいので、日米（韓台）の同時立上げを希望しています。（日米の共通インフラとして「スロー社会」を提案し、日米関税交渉の切り札にして下さい。）

現状の交通システムをほとんど変えることなく、法定速度で人が運転する車との共存をするシステムですが、踏切で故障をした場合は死亡事故につながりますので、踏切は通れない仕様（必要に応じて立体交差にする）、また市街地では交通渋滞を招くので、6 時～22 時は入れない仕様、津波や洪水の可能性のある地域では、水陸両用にし、逃げ遅れても命を守れるようにします。

南海トラフ地震の際、地震が来たら数分から数時間で大津波がきますので、多くの人々が逃げ遅れ、日本全国で約 30 万人が死亡すると言われておりますが、足腰が立たない高齢者や障害者でも、「水陸両用低速自動運転車」に乗せてあげれば、命を守ることができます。

また、そのまま仮設住宅・復興住宅としても機能し、災害関連死も防止できます。（余震に対しても強いので冷暖房完備の安全安心な空間が確保されます）

また、水陸両用自動運転車は、木造人工島のブルーカーボンの育成や島への往来にとっても便利です。世界中にニーズがあり、とても強力な輸出産業になると考えています。

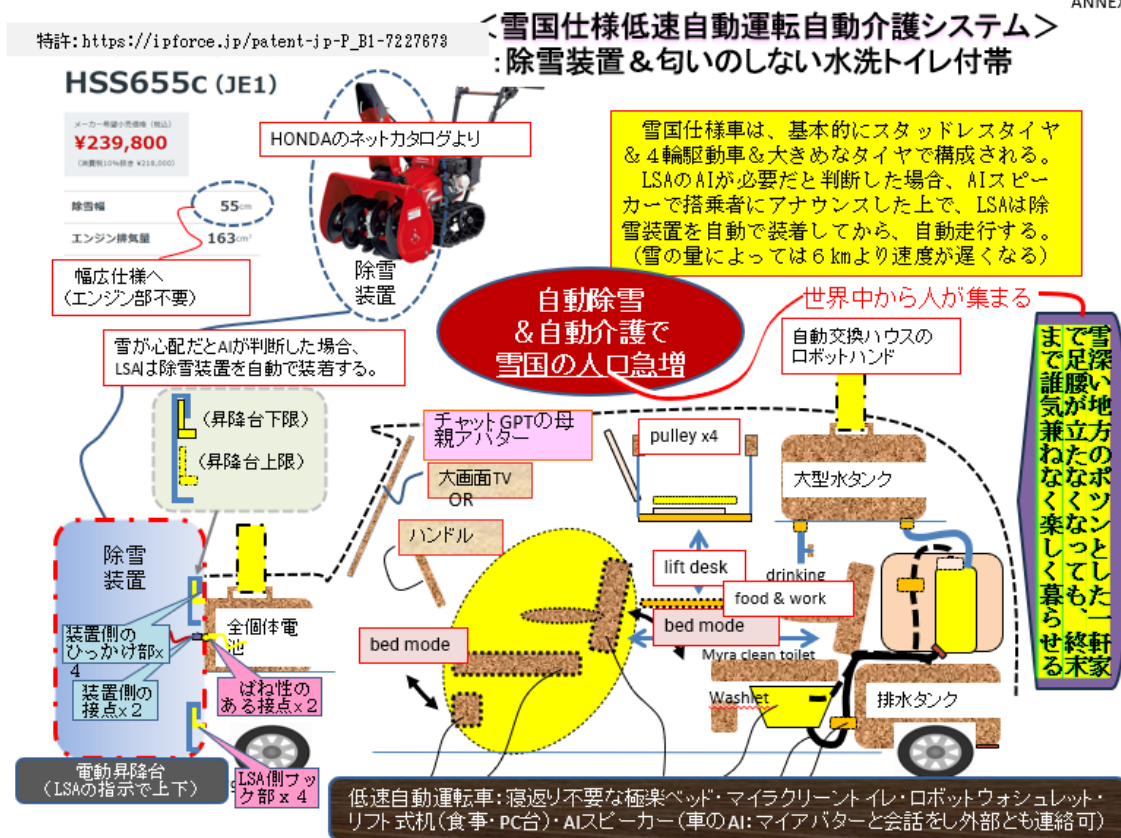
例えば、30 代女性が、駅に近い市街地でアパートを借りたら、10 万円でも狭い部屋で、給料の UP もあまり見込めないで、恋愛・結婚・子育てを諦めてしまうことが多く、（30 年で未婚率が 5 倍）少子化の要因になっていますが、郊外の空き家を借りリニューアルし、月々 3 万程度のローン、低速自動運転車（国の補助等があれば）月 3 万のローンやリースで（免許がなくとも）乗車でき、残りの 4 万を使い、広い家で恋愛・結婚・子育てを楽しむことができます。（低速自動運転車は少子化対策の切り札となります。）

(2) 自動介護システムの構築

一般的に、家族に足腰が立たない高齢者を抱えた場合に、家族の誰かが家に常駐して 24 時間付き添うことが必要とされ、仕事や趣味が奪われることが多々あり、介護される方も気を使い、介護する側としては、物理的にも精神的にも苦痛が伴います。

しかしながら「低速自動運転自動介護システムでは、基本的に、被介護者は車の中で一人で過ごし、在宅ながら家族の介護負担はなく、マイアバター（AI）との会話を楽しみ、またマイアバターからつないでもらう、他の人との TV 会話が（自動翻訳・母国語で）可能で、その際に「若い頃の顔にさらに整形を加えた顔で表示される」ので、終末まで恋愛が楽しめると思っています。

ANNEX-5



病院やデイサービス（今後ナイトサービスも生まれると予測）には、マイアバターがアポを取った上で連れていき、本人の医療情報をもつマイアバターが仲介する、TV 会話による遠隔医療も可能になります。

低速ながら、到着時間がある程度読めるので、受け入れ側の施設も過不足のない人員配置、また待たせない体制が可能にあります。

たとえば、被介護者は基本的に 24 時間車の中で過ごすものの、週末の夜の団らんの時間帯だけ、家族の付き添いで家にあげてもらい、一家そろっての会話を楽しむこともできます。

（３）自動運転パトロールシステムの構築

『24 時間スマートホンで呼び出し、だれでもがいつでも安全に移動が可能で、交通事故が激減する「低速自動運転車社会の構築」及び犯罪を大幅に減らすことができる「低速自動運転パトロールシステム」の推進普及にご協力下さい。』

先日の朝日新聞では「ストーカー対応 形骸化」「川崎殺害 県警が検証」「43 人処分 本部長が謝罪」の見出しで、何度も被害者から相談を受けていた川崎臨港署の対応の甘さから、殺人事件が発生し、幹部及び署員の 43 名を処分した旨を伝えています。

しかしながら、被害者と加害者とは、復縁&交際解消を繰り返し、復縁の報告もしたことがあり、痴話喧嘩にいちいち丁寧につき合っていないという雰囲気もあったかと思われます。

被害者の女性が行方不明になってからの、初動捜査の甘さは指摘されるべきですが、結局加害者の犯人は捕まえられたので、大きな過失ではないと考えています。

「低速自動運転社会」では、人通りの少ない時間帯又は人通りの少ないエリア（郊外）では、「低速自動運転車」に乗車し、ドア T0 ドアで移動が可能になり、しかも自宅やマンションの入り口に入るまで、車載カメラで観察しているので、不審人物が後から一緒に入ろうとすれば、マイアバター（AI）が画像添付で（GPS や番地情報も含めて）警察に通報するので、犯罪が起こりにくくなります。

「先程のストーカー気味の男性の話、怖いですねえ」（AI）、「玄関周りに不審者がいないかチェックして」（本人）、「大丈夫現状誰もいませんよ」（AI）「じゃ、今のタイミングで降りるのでドアを開けて」（本人）、「はい。ドアをあけます」（AI）は、「低速自動運転車」を下車するときの、マイアバター（AI）との会話です。物理的にも精神的にも安心感・信頼感がぐっと増します。

いつでもどこでも「低速自動運転車」に乗れるわけではないので、安全な入室システムのあり方として、「顔認証+」システムがよいと考えており、神奈川県警にも、以下の特許を紹介したいと考えています。

https://ipforce.jp/patent-jp-P_B1-7456693

また、神奈川県警には「低速自動運転パトロールシステム」を紹介済みで、感謝の電話がありましたが、再度紹介し、国策での開発普及のアシストを再度お願いをしたいと思います。（以下の URL の ANNEX-4 をご参照下さい。）

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_388091e4ff3e4ceca22b3d1e5b526fb2.pdf

マイアバター低速自動運転「防犯&防災パトロールカー」 L&H

「24時間巡回パトロール」(深夜の農作物・銅線盗難及び早朝の闇バイト強盗の撲滅)

「巡回交番」の役割も担う(呼び止めてよろず相談が可能、すぐに現場検証ができる。)

「巡回防災」の役割も担う(消火器 & AED 応急処置 SET、浮き輪搭載、的確な避難指示)



3、富国強兵への道の「強兵」

(1) 無人潜水艦&AI ドローン

強兵といいましても、兵員の増強ではなく、AI 無人潜水艦と AI ドローンの増強です。

『オーストラリア国防省は9月10日、大型無人潜水艇「ゴーストシャーク」を来年1月に実戦配備すると発表した。国内で数十艇を製造する予定で、将来の輸出も視野に入れている。インド太平洋への進出を図る中国に対する抑止力の強化が狙いとみられる。

ゴーストシャークは攻撃にも偵察にも使用可能で、「ステルス性が高く、航続距離も長い」(国防省)という。配備の費用は17億豪ドル(約1700億円)。3艇が既に納入された。国内で製造と整備を続けるため、国防省は米新興防衛企業アンドゥリルの豪州法人と5年契約を締結した。』とのことですので、日本も大型無人潜水艦の早期開発導入を強く望みます。

ご参考に、与那国町 総務課 0980-87-2241 宛へのメールを付加致します。
国の防衛方針に逆らうことは難しいですが、命を守る必要があります、もし以下をご賛同されましたら、沖縄県とご相談された上で国へ声出しをお願いします。

毎日のようにドローン攻撃の応酬があり、ウクライナ戦争をみればわかるとおり、ドローン全盛の時代に突入し、日本は侵略するわけではないので、軍隊の駐留は不要どころか、敵の標的になりやすいだけで、与那国島としては巻き添え攻撃の対象とならない民間施設だけにすべきと思います。

ドローンや超高速ミサイル攻撃に対しては、パトリオット等の防御システムをさらに充実させていく必要がありますが、従来の防衛の延長で考えるのではなく、ソルジャーブーツ（軍隊の上陸）を阻止するための、海域を守る手段として、24 時間体制の「無人機」「無人船」で考えていくべきだと思います。

ウクライナ戦争で、ウクライナの海上ドローン艇から発射されたミサイルがロシアの戦闘機（Su - 30）を破壊したというニュースがありましたが、また、停戦と叫びながら、互いに大規模な無人機攻撃を行っており、すでに人が乗る戦闘機、戦略ヘリ、戦車・装甲車、そして戦艦や駆逐艦も、殺されに行くようなものになってきていると考えています。

特に自衛隊の駐屯地は、米軍基地（報復攻撃が怖い、全面戦争が怖い）よりも、こじ付け的な理由をつけ、見せしめ的に攻撃がしやすいと考えています。

例えば、中国軍が事前通告をした上で、与那国島の自衛隊駐屯地の武器庫だけを複数のドローンで狙ったものの、撃ち落されたドローンの破片が民家にあたり炎上させるようなことが起こりうると考えています。

<陸上有人防人→海上無人防人への転換>

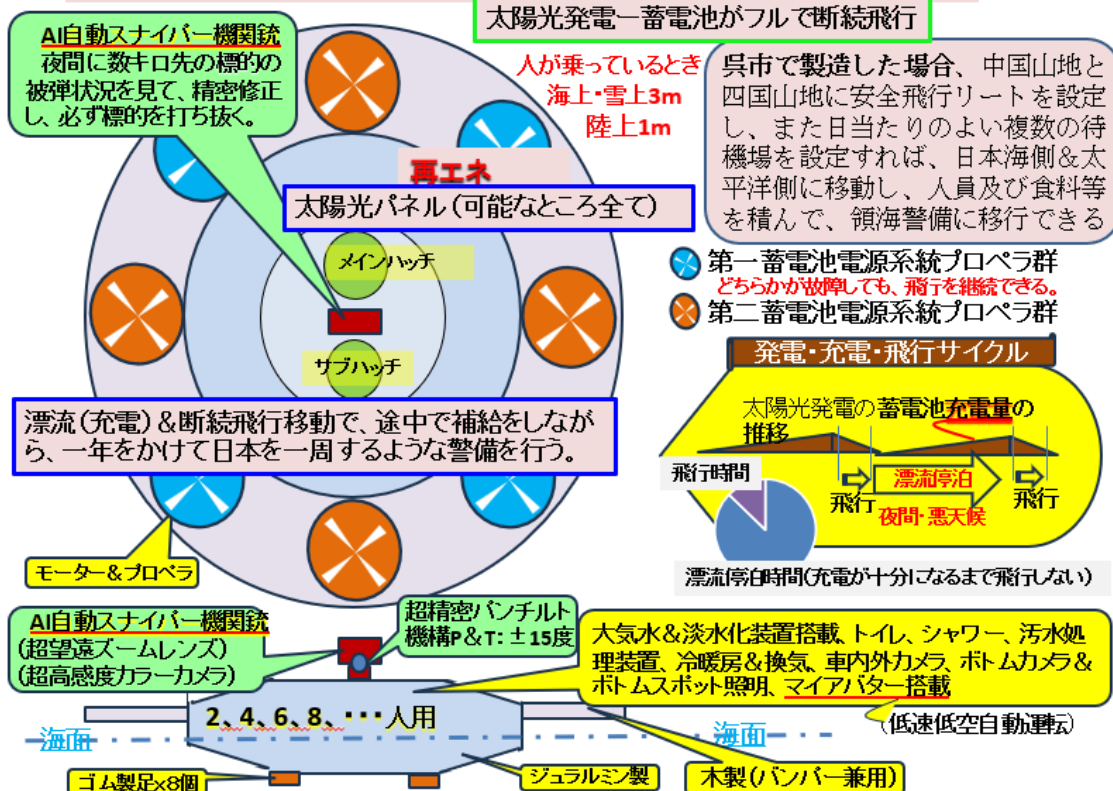
（当面は人が乗船する必要がありますが、AI 化により）無人船、無人潜水艦、そして無人機（ドローン）の時代に突入したことを、リアルタイムでウクライナ戦争では教えてくれています。

海を守るためのシステムとして「大型無人潜水艦」に「無数の戦略ドローン」を搭載して、その 9 割以上が撃墜されても、1 割以下で目的を達成するような感覚になっていくと考えています。

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_5e4390e13edb4951b7242aa439efa7c4.pdf

AI自動スナイパー機関銃搭載領海警備のAIドローン(断続飛行&漂流)

1/7



もちろん、いきなり無人機、無人潜水艦は無理ですので、10年計画等での配備、そして危険な自衛隊の駐屯を徐々に減らし、民間施設のみにしていくよう、国へお願いしてください。

また、防衛だけでなく、防災も防犯をも兼ねるシステムとして、自動スナイパー機関銃搭載の(当面は人が7~10名程度乗船する)太陽光パネル(発電)での断続飛行をする専守防衛ドローンを大規模に配備していくことを提案しています。(以下のURLのP2ご参照)

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_11b62ff82a0648a3a1cd88d9b1db9f9f.pdf

(2) 木造人工島のブルーカーボン

ご存じだと思いますが、例えば100%再エネ機器や原子力エネルギーに切り替わったとしても、CO2排出の全体の40%程度が、生物の生活や人間の各種生産によるものですので、永遠にカーボンニュートラルは達成されません。

従いまして、並行して、CO2削減技術を急ピッチで進めなければなりません。というより、効率の悪い再エネ機器に先行し、CO2の削減技術を検討していかなければならないと考えており、各省庁や首相官邸、複数の自治体や国連にも(下段の資料をご参照下さい。)お声がけをしています。

従来のブルーカーボン(海藻による光合成・CO2の固定)は、自然生育のものを見守る程度しかできず、魚により食べられたり、観光開発や商業開発で藻

場が減ることはあっても、増加をすることはありませんでしたので、カーボンニュートラルの達成に向けての期待感は希少なものでした。

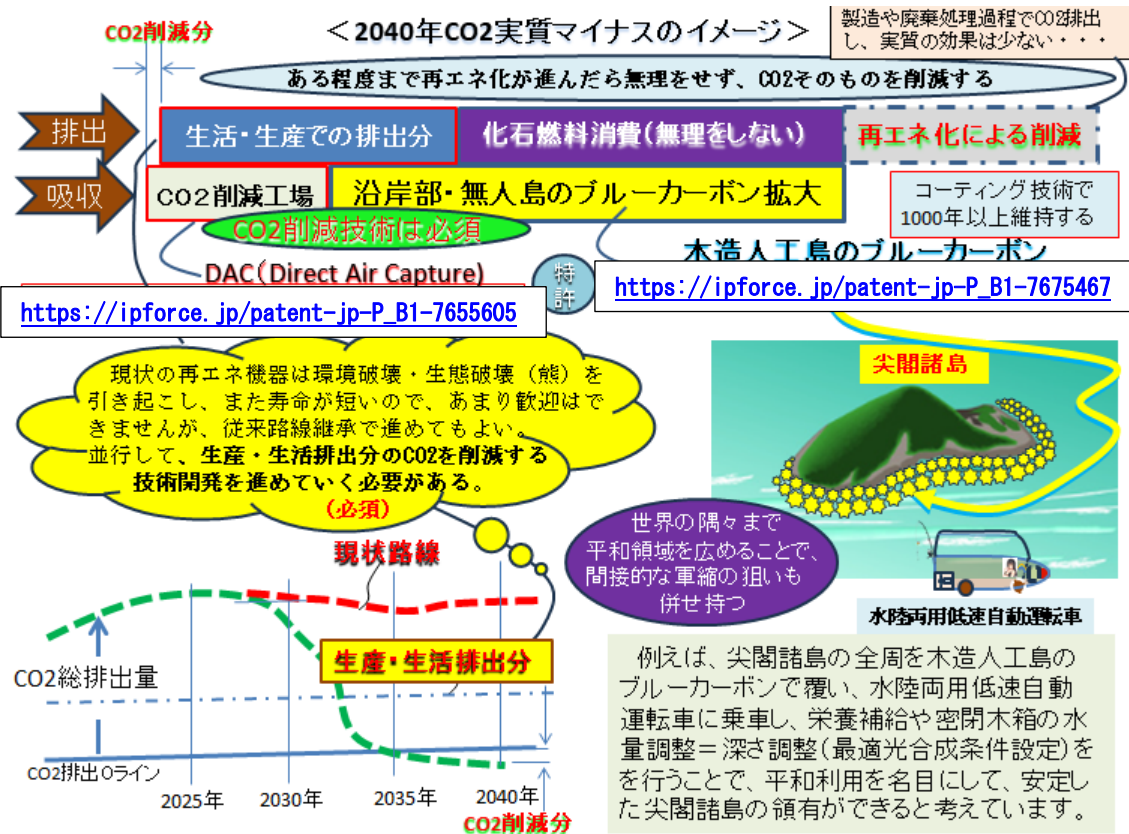
「木造人工島のブルーカーボン」では、世界中のありとあらゆる（商業施設や観光施設等を除く）沿岸部や無人島周囲に展開でき、世界が同時に進めれば、もし再エネ機器が遅々として進まず、化石燃料を使い続けても、2040年頃にはカーボンニュートラルが達成できるのではないかと見ております。

以下の特許情報をご参照下さい。
https://ipforce.jp/patent-jp-P_B1-7675467

「木造人工島のブルーカーボン」は低コスト、短納期、長寿命（1000年維持）環境にやさしいという特徴があり、今後並行して、高効率の光合成を行う藻種の開発が必要ですが、世界が協力し合い、競争と連携を密に行うことにより、必ずしや、よい藻種が生まれ、世界中で一斉にすすめることで、早期に世界の目標が達成されると考えています。以下のURLをご参照下さい。

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_9d5829003e6b41edad694b730159e5b0.pdf

現状計画の再エネ機器の計画に合わせて、「木造人工島のブルーカーボン」を加えた形にて、上記URLのP1の図（下図）のような、CO₂の削減量が見える形にて、日本全体（世界全体）の将来のカーボンニュートラルの達成のための技術シナリオをぜひ作成して欲しいと考えております。



289 証明したと思っています。

291 恐らくですが、「お前を総理にしてやるから、我々の指示には絶対服従せよ、
292 さもなくば、適当な理由をつけて総理から引きずり下ろす」のようなやりとり
293 があったのではないかと思われ、かわいそうに石破総理は、独自路線を出せな
294 いばかりか、指示に従っての政治を批判されるので、とても辛い日々が続き、
295 今はむしろ安堵をされていると思われます。

297 再エネの行政に関していえば、日本企業が表立ってやってはいますが、実態
298 は中国企業主体の海外企業の製品を日本へ輸出し、販売している状況になって
299 おり、日立・東芝・パナソニック・シャープ等の、日本の屋台骨を担ってきた
300 企業がどんどん撤退してきており、由々しき状況になっております。

302 特に問題になっているのが、森林伐採による環境破壊（熱海での土砂災害が
303 記憶に新しいですが、あちこちでその可能性が出てきております）に加えて、
304 クマの民家への出没が頻繁になったのは、太陽光パネルの設置で、ドングリな
305 どの食料が減り、生態破壊も引き起こしているようです。

307 東京都が新たに計画している、超大型の風力発電機の構想を見て、兵馬俑や
308 仁徳陵をイメージしました、東京都の力の誇示にはよいとは思いますが、もし
309 カーボンニュートラルの達成の為の技術計画の一つとして考えておられるなら、
310 全体&将来のCO₂の削減のイメージ図の公開も並行してお願いできますと助か
311 ります。（下記で紹介のURLのP1の図のようなイメージです。）

313 ご存じだと思いますが、例え100%再エネ機器や原子力エネルギーに切り
314 替わったとしても、CO₂排出の全体の40%程度が、生物の生活や人間の各種生
315 産によるものですので、永遠にカーボンニュートラルは達成されません。

316 従いまして、並行して、CO₂削減技術を急ピッチで進めなければなりません。
317 というより、むしろ再エネ機器に先行し、CO₂の削減技術を検討していかなけ
318 ればならないと考えており、各省庁や首相官邸、複数の自治体や国連等にも、
319 お声がけをしております。

320 従来のブルーカーボン（海藻による光合成・CO₂の固定）は、自然生育のも
321 のを見守る程度しかできず、魚により食べられたり、観光開発や商業開発で藻
322 場が減ることはあっても、増加をすることはありませんでしたので、カーボン
323 ニュートラルの達成に向けての期待感は希少なものでした。

325 「木造人工島のブルーカーボン」では、世界中のありとあらゆる（商業施設
326 や観光施設等を除く）沿岸部や無人島周囲に展開でき、世界が同時に進めれば、
327 もし再エネ機器が遅々として進まず、化石燃料を使い続けても、2040年頃には
328 カーボンニュートラルが達成できるのではないかと見ております。

329 以下の特許情報をご参照下さい。

330 https://ipforce.jp/patent-jp-P_B1-7675467

「木造人工島のブルーカーボン」は低コスト、短納期、長寿命（1000 年維持）環境にやさしいという特徴があり、今後並行して、高効率の光合成を行う藻種の開発が必要ですが、世界が協力し合い、競争と連携を密に行うことにより、必ずしや、よい藻種が生まれ、世界中で一斉にすすめることで、早期に世界の目標が達成され则认为しています。以下の URL をご参照下さい。

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_9d5829003e6b41edad694b730159e5b0.pdf

全国知事会を代表して小池都知事様が、「国産の木材を使って」と小泉農林大臣に申し入れたとのことですが、「木造人工島のブルーカーボン」では国産の木材を足りなくなる程多く使い、森林サイクルに大いに貢献します。

現状計画の再エネ機器の計画に合わせて、「木造人工島のブルーカーボン」を加えた形にて、上記 URL の P1 の図のような、CO2 の削減量が見える形にて、東京都全体の将来のカーボンニュートラルの達成のための技術シナリオをぜひ作成して欲しいと考えております。

また、「木造人工島のブルーカーボン」の各種ケア、光合成最適深さ調整、栄養分補給、日常点検には、免許がなくても誰でもが作業可能な「水陸両用低速自動運転車」が便利ですので、同時立ち上げを国に要望しておりますので、以下の URL をご参照下さい。

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_4bdb9ae07b9346f5a2c484551695cf59.pdf

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_f8bb35cd16154fec82529a3084a39a21.pdf

ご多忙中、大変恐縮ですが、以上の資料をご熟読下さい・
なにとぞ、よろしくお願い致します。

—————<ご参考：国連への申し入れの概要>—————

「木造人工島のブルーカーボンを世界中で同時スタート致しましょう。」
（国際連合日本政府代表部（ニューヨーク市）へのメール紹介）

はじめまして、ガーデンフィールド株式会社の広田と申します。
本来、外務省の地球環境課等を通じて、話すべきところですが、何度か地球環境課様とは電話でお話をしましたが、国際連合広報センター（別機関）のメールアドレスしか教えてもらえず、しかも国際連合広報センターには電話がかからない（公開している電話番号は現在使われておりませんと言われる）仕組みになっており、直接ご連絡を指しあげます。

大変失礼ながら、トランプ大統領の批判とは別次元にて、国連の方針にはいくつか問題があると思っています。

特にカーボンニュートラル達成に向けてのアクション（技術シナリオがない）とウクライナ戦争の長期化（落としどころを提示してない）を懸念しています。

373 <お願い事項>

374 下記の 2 つの URL の英文資料（上段の URL の P10 と下段の URL の P2）に関し、
375 国連の会議の場で、議論をしていただけないでしょうか？

376 1. 「木造人工島のブルーカーボン」を世界同時スタートし、化石燃料を使い
377 続けながらも、2940 年頃でのカーボンニュートラルを達成させたい。

378 2. 北方領土を含め、世界の係争地の落としどころとして、AI 共同統治化を行
379 い、

380 将来的には、どこの国も AI 統治を行い、国境を取り除きたい。

381
382 <問題点及び解決方法>

383 1. 世界はつながっており、カーボンニュートラルの技術シナリオを国連が作
384 成しなければならないのに、各国にゆだね、足並みがそろわず混乱を招い
385 ている。

386
387 2. カーボンニュートラルの取り組みの順番を間違えている。再エネ機器より
388 も、CO2 削減技術が重視されなければならないのに、怠り、各国での環境
389 破壊&生態破壊を引き起こしている。（本来、環境破壊や生態破壊を引き
390 起こすものはやってはならない。）

391 以上は、以下の URL の特に P 9（日本語）P10（英語）をご参照下さい。

392 https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_9d5829003e6b41edad694b730159e5b0.pdf

393
394 3. AI 共同統治の提案をせずに、ウクライナやガザ地区での戦争を長引かせ
395 ているばかりか、将来展望（落としどころ）が見えない状況になっている。
396 プーチン氏やネタニヤフ氏を説得するのは難しいですが、住民にとって
397 は、どこの国に属そうが関係なく、永久に平和で安全に豊かに暮らせれば
398 よいので、AI 共同統治の提案を行っていただきたいと思います。以下の
399 URL の P 2 をご参照下さい。

400 https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_efa7ebe895de44fab414f1fd76a002b0.pdf

401
402 AI 共同統治とは、多方面を同時に考えることができる AI が政策案を考え、
403 人が合議制で決定するシステムで、国連の常任理事国から 5 名、元関係国から
404 2 名ずつの 9 名が、AI から提出された議案を検討し。多数決で決定するもの。

405
406 補足：トランプ大統領のように、国連の温暖化防止対策に異議を唱え、経済
407 優先で化石燃料で儲けようとする考えもあり、現状のコストの高い、30 年程度
408 しか維持できない再エネ化を無理に進めることはなく、CO2 を自然な形で減ら
409 すアイデアを世界的に公募して欲しいと考えています。

410 「環境にやさしい」、「100 年以上維持する」、「低コスト」、「どこの国
411 でも拡大できるもの」等の条件が必要と考えています。

412
413 「木造人工島のブルーカーボン」は、上記条件をクリアーしているので、世
414 界中で一斉にスターとさせ、また世界レベルで連携しながら高効率の光合成の

藻種の開発を進めたらよいと考えています。（並行して、再エネ機器も含めて、
従来レベルを大きく凌駕するアイデアの特許技術を世界で公募すべきです。）

以下に、「木造人工島のブルーカーボンの設置要領」を紹介します。

＜木造人工島のブルーカーボンの設置方法案＞

大型船に、加工済みの木材、ビニールシート、培養土、防魚ネット、水槽内の海草等を積み込み、（座礁しないよう）沖合の海上を航行し、大型船上にて「木造人工島のブルーカーボン」を組み立て、完成ユニットをクレーンで沖合にて降ろし、小型船、あるいはワイヤーロープ等を使って、陸地側に設置した巻き取り機で、陸側に（海岸沿い）に牽引・移動することを考えています。

尚、「木造人工島のブルーカーボン」のユニットの固定は、海岸側に頑丈な鉄筋コンクリートの固定台を設定して、そこにゆるゆるな接続固定をすることで、また木造人工島の変形により、潮の満ち引きや津波、台風や嵐等にも耐えられると考えています。

また、完成ユニット同士の連結固定は、複数の太い木製リベットで位置決めをした上で、接着で連結をしていきます。

こまめなメンテナンスは必要と考えていますが、1000年以上は維持するものになります。

以上、ご連絡をお待ちしております。なにとぞ、よろしくお願い致します。

川崎市宮前区：ガーデンフィールド株式会社 代表 廣田祐次

ホームページ：<https://www.garden-field.com/>

メール：hirota.yuji@garden-field.com 電話：090 - 5203 - 8627

第二メールアドレス：taroul77.jp@yahoo.co.jp

（第一は調子が悪く、返信は第二アドレスへ：taroul77.jp@yahoo.co.jp）
